

**ツクルバ 2025年7月期 通期決算を発表**  
**売上高、売上総利益、営業利益が過去最高値を更新**  
**2026年7月期は売総20%増、営利35%増を見込む**

当社は、本日2025年9月12日、2025年7月期 通期決算を発表しました。  
詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

＊

以下プレスリリース

■2025年7月期 通期・第4四半期業績ハイライト

2025年7月期においては、カウカモ事業の規模拡大により、通期売上は8,099百万円（前期比+48%）、売上総利益は3,543百万円（前期比+25%）、営業利益は274百万円（前期比+77%）と期初予想を超過して、それぞれ過去最高値を更新しました。

第4四半期においては、売上高は2,315百万円（前年同期比+35%）、売上総利益は971百万円（前年同期比+36%）、営業利益は125百万円（前年同期比+144百万円\*1）で着地しました。当期に注力した集客強化の広告費用を計上しながら、営業黒字を拡大しました。

2025年7月期 第4四半期連結業績 (2025年5月～2025年7月)	<b>売上高・売上総利益は期初計画通りに伸長し、先行費用を計上しながら増益を継続</b> 売上高 <b>2,315</b> 百万円 (前年同期比 <b>+35%</b> ) 売上総利益 <b>971</b> 百万円 (前年同期比 <b>+36%</b> ) 営業利益 <b>125</b> 百万円 (前年同期比*1 <b>+144</b> 百万円)
2025年7月期 通期連結業績	<b>期初から安定的な成長を実現し、期初予想を超過して着地</b> 売上高 <b>8,099</b> 百万円 (前期比 <b>+48%</b> 、予想比 <b>+1%</b> ) 売上総利益 <b>3,543</b> 百万円 (前期比 <b>+25%</b> 、予想比 <b>+0%</b> ) 営業利益 <b>274</b> 百万円 (前期比 <b>+77%</b> 、予想比 <b>+19%</b> )
2026年7月期 連結業績予想	<b>売上総利益の着実な成長を継続しつつ、翌期以降の成長加速に向けた投資を実施</b> 売上高 <b>12,000</b> 百万円 (前期比 <b>+48%</b> ) 売上総利益 <b>4,260</b> 百万円 (前期比 <b>+20%</b> ) 営業利益 <b>370</b> 百万円 (前期比 <b>+35%</b> )

※1 前年同期が赤字のため増減額で表示

## ■2026年7月期 通期業績予想

2026年7月期の業績予想は、カウカモ事業の規模拡大により、売上高12,000百万円（前期比+48%）、売上総利益4,260百万円（前期比+20%）を見込みます。販管費については、規模拡大に伴う直接費用が増加しつつも、間接費用の抑制を継続した上で、2027年7月期以降の継続的成長に向けた先行投資を実施します。結果、営業利益は370百万円（前期比+35%）を計画しています。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、税金費用について信頼性の高い数値を的確に算出することが困難であることから、170百万円～230百万円のレンジ形式にて開示しております。

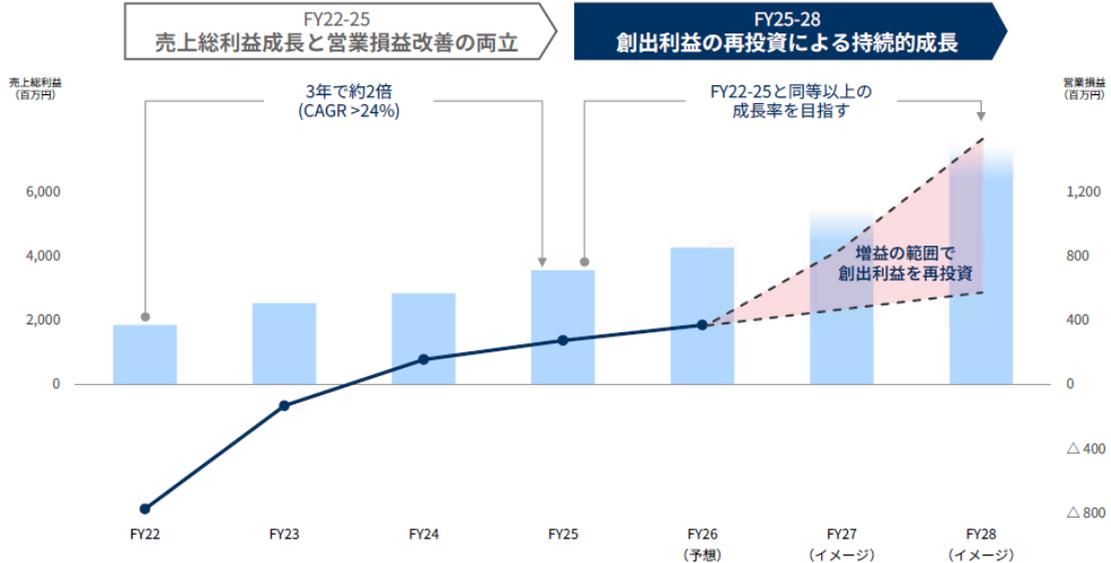
2026年7月期 通期連結業績予想

（単位：百万円）

	2026年7月期 通期連結業績予想	2025年7月期 通期連結業績	増減率
売上高	12,000	8,099	+48%
売上総利益	4,260	3,543	+20%
営業利益	370	274	+35%
経常利益	240	199	+20%
当期純利益	170 ～220	106	+59% ～+106%

## ■中期的な成長イメージ

当社は、2025年7月期までの3年間で、売上総利益は約2倍（+約17億円）、営業損益を10億円超伸長することができました。2026年7月期以降、増益の範囲で再投資を行い、継続的な成長を目指します。



## ■一部インターネット上の発信情報に関する調査結果について

本日開示の「一部インターネット上の発信情報に関する調査結果のお知らせ」にて記載の通り、社内調査委員会による調査報告書を受領し、代表取締役の異動及び再発防止策等を決定いたしました。調査結果の概要については、適時開示をご覧ください。



2025年9月12日

各位

会社名 株式会社ツクルバ  
 代表者名 代表取締役 CEO 野村 駿太郎  
 (コード: 2978 東証グロース)  
 問合せ先 取締役 CSO 北原 寛明  
 (TEL: 03-4400-2946)

一部インターネット上の発信情報に関する調査結果のお知らせ

当社は、2025年6月27日付「一部インターネット上の発信情報に関する調査結果のお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社元代表取締役およびその資産管理会社が、不適切な取引へ関係したとの疑いを指摘する情報がインターネット上で発信されたことを受け、社内調査委員会を設置し調査を進めてまいりました。

今般、調査結果を受領しましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。株主・投資家及び関係者の皆様に対してご心配とご不安をおかけし、お詫び申し上げます。

記

1. 調査に至る経緯および調査概要

(1) 調査に至る経緯  
 2025年6月、インターネット上において、当社元代表取締役 村上雄輝（以下、「村上」といいます。）およびその資産管理会社が、不適切な取引へ関係したとの疑いを指摘する情報が発信され、一部SNS等にて拡散されていること（以下、「本件」といいます。）を認識いたしました。本件を受け、2025年6月17日開催の取締役会において、社内調査委員会の設置を決議し、独立社外取締役である監査等委員および外部の独立性・専門性を有する弁護士により調査を進めてまいりました。

(2) 調査概要  
 実施者: 委員長 小林 賢治（社外取締役監査等委員、独立役員）  
 委員 西澤 千代子（社外取締役監査等委員（常勤）、独立役員、公認会計士）  
 委員 石本 忠次（当社社外取締役監査等委員、独立役員、税理士）  
 調査補助者: 鈴木 大輔（慶応義塾法律事務所・外国法共同事業 弁護士・公認不正検査士）  
 他 同事務所補助者数名  
 調査内容: 本件指摘内容に関する事実関係の調査  
 調査期間: 2025年6月17日から2025年9月12日  
 調査方法: 関係資料の検討および関係者へのヒアリング

2. 調査結果の概要  
 調査報告書においては、以下の事実が認定されております。

### 調査結果を受けた対応について

- 代表取締役の異動及び取締役候補者選任方針：調査結果を受け、村上から当社代表取締役を辞任した上で信頼回復に努めたいという旨の申し出があり、取締役会にて代表取締役の異動を決議。加えて、ガバナンス強化を目的とした経営体制への変更案を決定（P29参照）
- 再発防止策について
  - ガバナンス機能の強化：社外取締役過半数体制とするとともに、取締役会議長を社外取締役から選任。また法的専門知識を有する社外取締役を選任し、法令遵守・リスク管理観点の経営判断への反映を強化
  - 取締役会及び取締役としてのルールの明確化：取締役の遵守規律を明確化。役員の資産管理会社等への監督を強化。慎重を要する類型の契約についての承認プロセスを改善
  - 役職員の知識・意識の向上：役職員に対する宅建業法や会社法等に関する研修、社内通報制度の周知徹底等により法令遵守意識を向上

### 業績への影響等

- 本件に関し調査対応費用（特別損失）が生じているが、当社業績に与える影響は軽微である見込み
- なお、本件調査および対応に関連して当社が負担した合理的な費用の求償については、元代表取締役村上よりこれに応じる旨合意済

## ■代表取締役の異動ならびに役員人事について

本日開催の取締役会にて代表取締役の異動および次期取締役候補者選任を決議いたしました。今後、新たな経営体制のもと、より実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制を構築します。

### 代表取締役の異動

氏名	旧役職 <sup>1</sup>	新役職
村上 浩輝	代表取締役	取締役 <sup>2</sup>
野村 駿太郎	取締役	代表取締役

#### 新任代表取締役の選定理由

野村氏は、株式会社コスモスイニシアの仲介・再販部門における最年少管理職を経て、同部門責任者として事業拡大を牽引しました。当社においては、再販部門の新規連結子会社の代表取締役としてその立ち上げを担い、事業を急成長させるとともに、取締役CROとして、当社の営業部門全般を管掌しています。これらの経験及び、不動産流通業界における豊富な知見により、当社の事業深耕と成長戦略に寄与することが期待できることから、当社の新たな代表取締役として適任であると判断されました。

<sup>1</sup>旧役職について、村上浩輝・野村駿太郎は本日付の代表取締役の異動前の役職を記載しております。  
<sup>2</sup>村上浩輝は、2025年10月29日開催予定の定時株主総会終結の時をもって、任期満了につき退任予定であります。

#### 野村 駿太郎

2009年4月 株式会社コスモスイニシア 入社  
2023年7月 当社 入社  
2023年8月 株式会社ツクルボックス 代表取締役（現任）  
2024年2月 当社 執行役員  
2024年8月 当社 上級執行役員  
2025年2月 当社 上級執行役員 CRO  
2025年5月 当社 取締役 上級執行役員 CRO  
2025年9月 当社 代表取締役CFO（現任）

### 役員人事（第14期定時株主総会における選任候補）

氏名	旧役職 <sup>1</sup>	新役職
野村 駿太郎	取締役	代表取締役
北原 寛司	取締役	取締役
竹内 真	取締役	取締役
村上 浩輝	代表取締役	—
小林 賢治	社外取締役 監査等委員	社外取締役 取締役会議長 <sup>3</sup>
福島 良典	社外取締役	社外取締役
西浦 千栄子	社外取締役 常勤監査等委員	社外取締役 常勤監査等委員
石本 忠次	社外取締役 監査等委員	社外取締役 監査等委員
木村 勇人	—	社外取締役 監査等委員

<sup>3</sup>小林賢治氏は、2025年10月29日開催予定の定時株主総会における定款一部変更議案の承認及びその効力発生後、同株主総会終了後に開催予定の取締役会における決議により、取締役会議長に選任予定であります。

#### 木村 勇人

2012年12月 弁護士登録  
2013年1月 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業入所  
2014年5月 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社へ在籍出向  
2019年2月 三菱地所投資顧問株式会社へ在籍出向  
2022年8月 Smith, Gambrell & Russell, LLPへ在籍出向  
2025年1月 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業シニアパートナー（現任）  
2025年5月 ニューヨーク州弁護士登録

## ■株式会社カウカモ工務店の設立について

カウカモ事業のサービス価値向上及び収益機会拡大に向けたバリューチェーンの拡張を目的に、リノベーションの設計・施工を専門に行う子会社として「株式会社カウカモ工務店」を2025年10月に設立予定です。

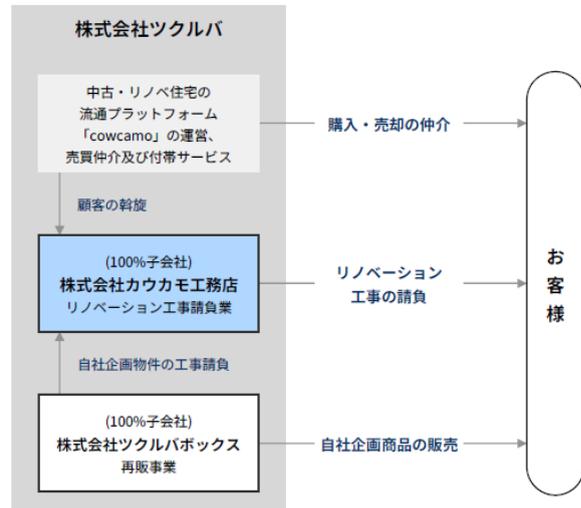
### 事業概要と設立背景

- ・ 当社カウカモサービスのお客様からのリノベーション工事の請負、及び自社企画商品の仕入・開発・販売を行う株式会社ツクルバボックスからの工事請負を行います。
- ・ バリューチェーンの拡張により、買主顧客向けサービス価値向上や収益機会の拡大を実現します。

### 会社概要

代表取締役	竹内 真（株式会社ツクルバ取締役と兼任）
事業内容	マンションのリノベーション工事請負業
設立年月日	2025年10月（予定）
資本金	50,000,000円（株式会社ツクルバ100%出資）

### 当社グループにおける位置づけ



## ■詳細のご案内

詳細は、当社IRページ掲載の資料をご確認ください。

<https://tsukuruba.com/ir>